

## 作業療法学分野

### 論文

#### A 欧文

##### A-a

1. Umeki N, Murata J, Higashijima M: Effects of Training for Finger Perception on Functional Recovery of Hemiplegic Upper Limbs in Acute Stroke Patients. *Occup Ther Int* (<https://www.hindawi.com/journals/oti/>) 2019: 6508261, 2019 (IF:0.821)
2. Nagae M, Tokunaga A, Morifuji K, Matsuzaki J, Ozawa H, Motoyama K, Honda S, Hanada H, Tanaka G, Nakane H: Efficacy of a group psychoeducation program focusing on the attitudes towards medication of children and adolescents with ADHD and their parents: a pilot study. *Acta Medica Nagasakiensia* 62(3): 77-86, 2019
3. Nishida-Hikiji E, Okamoto M, Iwanaga R, Nakane H, Tanaka G: Mental health literacy regarding eating disorders in female Japanese university students. *Eat Disord* (<https://www.tandfonline.com/toc/uedi20/current>) 1-12, 2019 (IF:1.347)
4. Tokunaga A, Iwanaga R, Yamanishi Y, Higashionna T, Tanaka K, Nakane H, Tanaka G: Relationship between parenting stress and children's behavioral characteristics in Japan. *Pediatr Int* (<https://onlinelibrary.wiley.com/journal/1442200x>) 61(7): 652-657, 2019 (IF:0.939)
5. Kinoshita H, Tanaka K, Nakao R, Iso F, Honda S, Tanaka G, Nakane H: Comparison of mental cognitive function of A-bomb survivors and non-A-bomb in Nagasaki. *Psychiatry Clin Neurosci* (<https://onlinelibrary.wiley.com/journal/14401819>) 73(9): 594, 2019 (IF:3.489)
6. Tokunaga A, Akiyama T, Miyamura T, Honda S, Nakane H, Iwanaga R, Tanaka G: Neonatal behavior and social behavior and sensory issues in 18 months toddlers. *Pediatr Int* (<https://onlinelibrary.wiley.com/journal/1442200x>) 61(12): 1202-1209, 2019 (IF:0.939)
7. Ohnishi M, Kawasaki R, Nakane H: A comparison of the mental health status of methamphetamine-dependent inmates and drug addiction rehabilitation program participants in Japan. *Psychiatry Clin Neurosci* (<https://onlinelibrary.wiley.com/journal/14401819>) 73(9): 596, 2019 (IF:3.489)
8. Kogo H, Murata J, Murata S, Yamashita Y, Higashi T: Characteristic Lower Limb Pitting Edema Post-Stroke - Identification of Risk Factors: A Comparison between the Normal and Hemiplegic Side in Stroke Patients and Healthy Elderly Controls. *Journal of Physiotherapy & Physical Rehabilitation* (<https://www.hilarispublisher.com/physiotherapy-physical-rehabilitation.html>) 4(1): 1000164, 2019
9. Imaoka S, Sato K, Hurukawa M, Higashi T: Predictive factors for ambulatory state in critical limb ischemia patients at discharge. *J Phys Ther Sci* (<https://jpts.spts.jp.com/>) 31(8): 629-632, 2019
10. Sugawara K, Tanabe S, Suzuki T, Higashi T: Effect of electrical stimulation of antagonist muscles for voluntary motor drive. *Somatosens Mot Res* (<https://www.tandfonline.com/toc/ismr20/current>), 36(2): 109-115, 2019 (IF:1.235)
11. Ishibashi D, Homma T, Nakagaki T, Fuse T, Sano K, Satoh K, Mori T, Atarashi R, Nishida N: Type I interferon protects neurons from prions in in vivo models. *Brain* (<https://academic.oup.com/brain>) 142(4): 1035-1050, 2019 (IF:11.814)
12. Hayashi Y, Iwasaki Y, Waza M, Shibata H, Akagi A, Kimura A, Inuzuka T, Satoh K, Kitamoto T, Yoshida M, Shimohata T: Clinicopathological findings of an MM2-cortical-type sporadic Creutzfeldt-Jakob disease patient with cortical blindness during a course of glaucoma and age-related macular degeneration. *Prion* (<https://www.tandfonline.com/toc/kprn20/current>) 13(1): 124-131, 2019 (IF:1.596)
13. Satoh K, Fuse T, Nonaka T, Trang Dong, Takao M, Nakagaki T, Ishibashi D, Taguchi Y, Ban Mihara B, Iwasaki Y, Yoshida M, Nishida N: Postmortem Quantitative Analysis of Prion Seeding Activity in the Digestive System. *Molecules* (<https://www.mdpi.com/journal/molecules#>) 24(24): 4601, 2019 (IF:3.06)
14. Maeda K, Sugihara Y, Shiraishi T, Hirai A, Satoh K: Cortical Hyperintensity on Diffusion-weighted Images as the Presymptomatic Marker of Sporadic Creutzfeldt-Jakob Disease. *Intern Med* (<http://internmed.jp/>) 58(5): 727-729, 2019 (IF:0.956)

#### B 邦文

##### B-a

1. 岩永竜一郎, 加藤寿宏, 伊藤祐子, 仙石泰仁, 徳永瑛子, 東恩納拓也, 檜川亜衣, 上田 茜: 学校版感覚処理アセスメントの因子分析研究. *日本発達系作業療法学会誌* 6(1): 1-7, 2019
2. 吉田瑛美, 塩屋 望, 片岡美希, 徳永瑛子, 宮原春美, 鶴崎俊哉, 岩永竜一郎: 自閉症スペクトラム症の子どものスクリーニングのための社会的認知検査の開発—検査試案の作成—. *日本発達系作業療法学会誌* 6(1): 14-21, 2019
3. 今市屋桃子, 飯田成美, 穂山富太郎, 鶴崎俊哉, 徳永瑛子, 岩永竜一郎: 新生児行動評価スケールの因子分析研究. *日本発達系作業療法学会誌* 6(1): 23-28, 2019
4. 小田和徳, 飯田成美, 穂山富太郎, 鶴崎俊哉, 徳永瑛子, 岩永竜一郎: 新生児の新生児行動評価スケールにおけるク

ラスター群間の相関関係. 日本発達系作業療法学会誌 6(1): 29-33, 2019

5. 岩永竜一郎, 徳永瑛子, 吉田ゆり, 田山 淳, 田中悟郎, 今村 明, 調 漸: 遠隔地の児童発達支援センター職員との Skype を用いた勉強会の試み. 日本発達系作業療法学会誌 6(1): 34-39, 2019
6. 倉澤茂樹, 立山清美, 岩永竜一郎, 大歳太郎, 中谷 謙, 横井賀津志: 日本における自閉症スペクトラム障害の診断年齢, 種別の検討. 保健医療学雑誌 10: 34-41, 2019
7. 岩永裕人, 大迫 健, 徳永瑛子, 田中悟郎, 菊池泰樹, 岩永竜一郎: 幼児をもつ父親の育児ストレスと関連要因. 日本発達系作業療法学会誌 6(1): 8-13, 2019
8. 浜口 毅, 三條伸夫, 中村好一, 北本哲之, 村山繁雄, 高尾昌樹, 佐藤克也, 原田雅史, 水澤英洋, 山田正仁: MM2 視床型孤発性 Creutzfeldt-Jakob 病の臨床像. NEUROINFECTION 24(2): 164, 2019
9. 下田 航, 阿南君佳, 佐藤克也: ABC 認知症スケールの妥当性について. Dementia Japan 33(4): 535, 2019
10. 佐藤克也: ヒトプリオン病患者におけるバイオマーカーの検討. NEUROINFECTION 24(2): 154, 2019
11. 片岡 敏, 安田 雄, 北本哲之, 佐藤克也: 多彩な皮質徴候を呈した MM-2 皮質型孤発性 Creutzfeldt-Jakob 病と考えられる 1 例. 臨床神経学 59(10): 672, 2019
12. 大山 要, 草野泰輝, 濱崎まや, 山根千穂, 相原希美, 一瀬邦弘, 中根俊成, 佐藤克也, 中嶋幹郎, 川上 純: 免疫複合体解析による脳・末梢の免疫異常の重複性の調査と特異的抗原の特定 MS・NMO・NPSLE を例に. 神経免疫学 24(1): 127-127, 2019
13. 村田 潤, 梅木奈穂, 古後晴基, 大山美智江, 山形茂生: 背部および頭頸部のギャッチアップ時にみられる血圧変動. ヘルスプロモーション理学療法研究 8(4): 187-191, 2019
14. 山下 裕, 古後晴基, 西上智彦, 東 登志夫: 頸部痛患者の疼痛強度及び能力障害は神経障害性疼痛の有無により関与する因子が異なる. ヘルスプロモーション理学療法研究, 9(3): 105-112, 2019
15. 古後晴基, 山滝奈海, 村田 潤: 健常若年女性を対象とした股関節屈曲における大腿骨運動と寛骨運動の関係. 理学療法科学 34(5): 689-693, 2019

#### B-b

1. 岩永竜一郎: 自閉スペクトラム症児への感覚・運動アプローチ. LD 研究 28: 46-51, 2019
2. 岩永竜一郎: 感覚統合とは. 特別支援教育の実践情報 11: 20-21, 2019
3. 岩永竜一郎: 発達障害のからだどころ ヒトのからだどころの発達 ヒトの運動はどのように発達していくか. どころの科学 207: 25-28, 2019
4. 岩永竜一郎: 感覚過敏が激しいお子さんへの生活の中での支援 (保護者の関わり方を考える: 親がどう働きかけをすることがいいのか). アスペハート 17(2): 38-40, 2019

#### B-c

1. 岩永竜一郎: 学校及び保育所等訪問支援における作業療法. (重森健太, 横井賀津志 (編): 地域リハビリテーション学 第 2 版. 羊土社, 東京, pp.187-199 所収) 2019
2. 岩永竜一郎: 感覚・不器用さへの理解と対応. (川上ちひろ, 木谷秀勝 (編著): 発達障害のある女の子・女性の支援. 金子書房, 東京, pp.31-38 所収) 2019
3. 岩永竜一郎: JMAP, JPAN 感覚処理行為機能検査. (楠本泰士, 友利幸之介(監修): 小児リハ評価ガイド. Medical View, 東京, pp.154-156, pp.157-159 所収) 2019
4. 佐藤克也: 感染症疾患 15 プリオン病. (南学正臣(総編集): 内科学書 改訂第 9 版 山中書店, 東京, vol.2: pp.183-185 所収) 2019
5. 佐藤克也: 神経疾患 4 感染症・炎症性疾患 脳腫瘍の他の中枢神経感染症. (南学正臣(総編集): 内科学書 改訂第 9 版 山中書店, 東京, vol.6: pp.392-395 所収) 2019

#### B-d

1. 横尾誠一, 中根秀之: 在宅療養高齢者のソーシャルネットワークに影響する要因. 保健学研究 32: 87-93, 2019
2. 大西真由美, 中根秀之, 川崎涼子: 受刑経験がある薬物依存症者の再犯防止に寄与する社会的包摂プログラム開発. 医療の広場 59(7): 20-23, 2019
3. 横尾誠一, 大町いづみ, 中根秀之: 離島地域における在宅療養高齢者のソーシャルネットワークに関する研究. 日本看護学会論文集(ヘルスプロモーション) 49: 151-154, 2019

B-e

1. 石井慎一郎, 半澤節子, 酒井克子, 永井優子, 路川達阿起, 宮城純子, 谷田部佳代弥, 小池純子, 板橋直人, 中根秀之: 隔離と倫理的問題に対する精神科看護師の認識. 日本社会精神医学会雑誌 28(3): 311, 2019
2. 木下裕久, 中根秀之, 太田保之, 野中俊輔, 森本芳郎, 松坂雄亮, 金替伸治, 倉田青弥, 中野 健, 野畑宏之, 山口尚宏, 本田純久, 今村 明, 小澤寛樹: 雲仙普賢岳噴火災害 25 年後調査 ストレス障害の長期経過と心的外傷後成長(PTG). 精神神経学雑誌 2019 特別号: S630, 2019

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	4	1	6	40

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
東嶋美佐子・教授	評議員	日本摂食嚥下リハビリテーション学会
東嶋美佐子・教授	福祉のまちづくり推進協議会委員	長崎県
東嶋美佐子・教授	演題査読委員	日本作業療法士協会
田中悟郎・教授	学会演題査読委員	日本作業療法士協会
田中悟郎・教授	機関誌査読委員	日本精神障害者リハビリテーション学会
田中悟郎・教授	副会長	長崎県精神科リハビリテーション研究会
田中悟郎・教授	理事長	NPO 法人地域活動支援センターHOT HOT BOX
中根秀之・教授	日本精神保健・予防学会 (理事)	日本精神保健・予防学会
中根秀之・教授	GID(性同一性障害)学会 (理事)	GID(性同一性障害)学会
中根秀之・教授	日本社会精神医学会 (評議員)	日本社会精神医学会
中根秀之・教授	九州精神神経学会 (評議員)	九州精神神経学会
中根秀之・教授	日本精神神経学会 (ICD-11 委員会委員・性同一性障害に関する委員会委員)	日本精神神経学会
中根秀之・教授	日本精神科診断学会 (評議員)	日本精神科診断学会
中根秀之・教授	日本統合失調症学会 (評議員)	日本統合失調症学会
中根秀之・教授	長崎県緊急被ばく医療ネットワーク検討委員会委員	長崎県医療政策課
中根秀之・教授	長崎県福祉保健審議会委員	長崎県福祉保健部
中根秀之・教授	こころの緊急支援チーム運営委員	長崎こども・女性・障害者支援センター
中根秀之・教授	医療観察法病棟倫理会議における外部委員	長崎県精神医療センター
中根秀之・教授	学校医	長崎県立長崎西高等学校
中根秀之・教授	精神保健審判員	長崎地方裁判所
中根秀之・教授	長崎県保健医療対策協議会がん対策部会緩和ケア医師研修委員会委員	長崎県医療政策課 在宅医療・がん対策班政策課
東 登志夫・教授	学術部 学術委員長	日本作業療法士協会
東 登志夫・教授	理事 日本作業療法研究学会雑誌編集委員会 編集委員長	日本作業療法研究学会
岩永竜一郎・教授	日本発達系作業療法学会理事	日本発達系作業療法学会
岩永竜一郎・教授	日本感覚統合学会理事	日本感覚統合学会
岩永竜一郎・教授	日本発達性協調運動障害学会理事	日本発達性協調運動障害学会

岩永竜一郎・教授	長崎県発達障害児・者総合支援推進会議委員	長崎県
岩永竜一郎・教授	長崎県発達障害児等教育支援連絡協議会委員	長崎県
岩永竜一郎・教授	長崎県発達障害者支援センター連絡協議会委員	長崎県
佐藤克也・教授	日本神経学会代議員	日本神経学会
佐藤克也・教授	会員増加委員会 委員	日本感染症学会
佐藤克也・教授	日本神経感染症学会評議員	日本神経感染症学会
佐藤克也・教授	日本早期認知症学会評議員	日本早期認知症学会
佐藤克也・教授	伝達性海綿状脳小対策部会員	厚生労働省
佐藤克也・教授	食品安全委員会専門委員	内閣府
佐藤克也・教授	薬事・食品衛生審議会臨時委員	厚生労働省
佐藤克也・教授	プリオン病 画像小委員会	厚生労働省
佐藤克也・教授	プリオン病サーベイランス委員会	厚生労働省
佐藤克也・教授	JCOP 運営委員	国立精神・神経医療研究センター
佐藤克也・教授	長崎県油症対策委員会長崎県支部副委員長	長崎県
佐藤克也・教授	油症患者診定専門委員	福岡県
佐藤克也・教授	長崎県認知症サポート医及びかかりつけ医認知症対応向上研究会の講習会講師	長崎県・長崎県医師会
佐藤克也・教授	かかりつけ医認知症対応力向上研修会講師	長崎県医師会
佐藤克也・教授	認知症診断協力医	長崎県公安委員会
村田 潤・准教授	理事	日本ヘルスプロモーション理学療法学会
徳永瑛子・助教	発達障害児・者支援推進会議就労支援部会委員	長崎県
森内剛史・助教	理事（学術局）	長崎県作業療法士会

### 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
東嶋美佐子・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 認知症の進行に伴う嚥下機能の経時的変化と並走する誤嚥リスク回避策に関する臨床研究
東嶋美佐子・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 数理モデルからの知識の転移と学習およびその医工学応用
東嶋美佐子・教授	東アジア・アセアン経済研究センター	分担	日本の口腔嚥下ケアのインドネシアへの技術移転に関する基礎的研究
田中悟郎・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 精神障害者ピアサポーター養成プログラムの包括的な評価研究
田中悟郎・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 地域で活用できる認知症予防プログラム「脳ケア」のビッグデータを用いた有用性の検討
田中悟郎・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 高齢化する被爆者における認知機能と精神健康コホート研究 3年後フォローアップ調査
田中悟郎・教授	文部科学省	プロジェクトリーダー	障害者の生涯学習活動への地域包括的支援

中根秀之・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 高齢化する被爆者における認知機能と精神健康コホート研究 3年後フォローアップ調査
中根秀之・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 精神障害者ピアサポーター養成プログラムの包括的な評価研究
中根秀之・教授	日本学術振興会	分担	挑戦的研究(萌芽) 薬物事犯による刑事施設入所中の累犯受刑者の保健医療ニーズと社会生活定着要件
中根秀之・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 地域で活用できる認知症予防プログラム「脳ケア」のビッグデータを用いた有用性の検討
東 登志夫・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 三次元 VR 環境による新しい半側空間無視の評価・訓練システムの開発と有用性の検討
東 登志夫・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) シルバーカーから歩行車への変更が要介護高齢者の身体活動量に及ぼす効果
東 登志夫・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) プリズム順応が 360° 水平空間における音源定位(多方向性注意)に与える効果検証
佐藤克也・教授	日本医療研究開発機構(AMED)	代表	プリオン病の早期診断基準の作成を目指した新たなエビデンス創出とその検証に用いる遺伝性プリオン病未発症例の臨床調査と画像・生体材料の収集
佐藤克也・教授	日本医療研究開発機構(AMED)	分担	レビー小体型認知症(DLB)の病原性蛋白質αシヌクレインの新規診断・治療効果判定法の開発
佐藤克也・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) プリオン病の革新的な非侵襲的な診断法の開発
佐藤克也・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) クロイツフェルト・ヤコブ病のタイプを鑑別可能なコンビネーション QUIC 法の構築
佐藤克也・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 脳梗塞に対する細胞移植・再生医療における健常対側大脳半球の制御メカニズム解明
村田 潤・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 手指感覚トレーニングに伴う脳皮質活性の変化と手指血流応答の関連性
村田 潤・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 効果的で継続しやすい介護予防プログラムの開発とシステム構築
村田 潤・准教授	日本学術振興会	分担	挑戦的研究(萌芽) パーキンソン病者が安全に行える「指リズム歩行トレーニング」の開発
徳永瑛子・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 生後1週間内の行動と3歳時点での自閉ス

			ペクトラム症のリスクの関係
徳永瑛子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 拡散テンソル画像による自閉スペクトラム症児に対する運動訓練の効果検証
徳永瑛子・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 児童精神科における服薬アドヒアランス評価尺度の精度向上を目的とした質的研究
森内剛史・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 実践的な運動イメージ評価の確立に向けた多面的評価視点からの検討
中根秀之・教授	美祿社会復帰促進センター		ギャンブル依存症心理教育プログラムの開発及び効果検証
中根秀之・教授	小学館集英社プロダクション		同上

## 特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
佐藤克也・教授	14-3-3 墾白 $\gamma$ アイソフォーム特異的 ELISA	2011.11.8	2012.4.7	2011-244809
佐藤克也・教授	$\alpha$ -シヌクレイン検出方法	2017. 11.29	2018.6.14	2017-228820
佐藤克也・教授	洗浄殺菌方法	2014. 02.21	2014. 08.28	WO2014-129579

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
中根秀之・教授	非常勤講師（精神・神経学）	佐賀大学医学部
徳永瑛子・助教	非常勤講師（障害児保育）	長崎純心大学

### 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
佐藤克也・教授	あさカラ 我ら元気な介護世代！	NBC ラジオ	2019年6月20・27日	介護に関する悩みや相談事を共有し、分かち合うことが目的とした番組。「物忘れ外来」と「認知症予防」をテーマにわかりやすく解説を行った。

### 学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
村田 潤・准教授	優秀賞	日本ヘルスプロモーション理学療法学会	第9回学術集会において発表した「手指感覚情報処理時の循環調節能に対する中枢神経障害の影響について」の研究内容が、同学会よりリハビリテーション技術発展への貢献が期待されると評価を受けた。